

**2026年度 社会福祉法人 京都愛心会 特別養護老人ホーム宇治愛の郷
事業計画**

1、事業目的

当法人は、運営理念に基づき高齢者福祉に貢献することを目的とし、老人福祉法、介護保険法の遵守に努め、多様な福祉ニーズの変化に迅速かつ柔軟に対応出来るように、創意工夫しながら入所者が個人の尊厳を保持しつつ、施設での生活を通じて、自立した生活を地域社会で営むことが出来るように支援します。入所者一人ひとりの意思及び人格、自己決定を尊重し、施設サービス計画に基づき、入所者がその人らしい生活が継続出来るよう支援をすることを目的とします。

2、基本方針

入所者が安全かつ安心して生活を送ることができるよう常に配慮しつつ、良質なサービスを提供できる体制の構築・支援に努めます。あわせて、宇治徳洲会病院との連携を強化し、医療面においても入所者およびそのご家族が安心できる施設づくりを目指します。

また、施設運営の根幹である介護力の向上を図るため、以下の項目に重点的に取り組みます。

(1) 働きやすい職場づくり

福祉現場における人材確保は、依然として非常に厳しい状況が続いています。「働きやすさ」の概念も時代とともに変化してきていると考えられます。職員が業務を通じて達成感を得られることも、重要な要素の一つです。

職員一人ひとりが向上心をもって業務に取り組むことができ、かつ「職員から選ばれる職場」となることを目指し、以下の取組を推進します。

ア) 人材定着への取り組み

職員が定着しない要因の一つとして、職場内の人間関係が大きく影響していると考えられます。職員それぞれの思いや悩みを早期に把握するため、定期的な個人面談を実施し、その内容を必要に応じて個別あるいは全体で共有することで、円滑な人間関係の構築に努めます。

イ) 人材確保への取り組み

今後の介護人材確保の状況を踏まえ、介護実務未経験者や外国人人材についても積極的に採用していきます。また、各種関係機関との連携を強化しながら、人材確保に継続的に取り組みます。

ウ) ケアの質の向上

ケアの内容は時代とともに進化しています。介護ロボットや ICT 等の新たな知識・技術について、積極的な導入を検討・推進し、サービスの質の一層の向上を図ります。

(2) 介護の可視化

介護現場においては、個室化に伴う原因不明の事故が生じるケースがあります。入所者ご家族および職員を含め、安心して生活・利用できる環境を整備するため、「見守りカメラ」等の機器導入を早急に検討・実施し、ご家族の同意を得たうえで適切な運用を行います。

(3) 安定した経営基盤の構築

昨今の経済状況を鑑みると、食材料費、エネルギー費、法定福利費等の高騰により、今後も運営上の不安定要素が拡大していくことが予想されます。さらに、人材募集に係る費用の高騰も、引き続き継続すると見込まれます。

本年度については、介護報酬の引き上げが見込まれる一方で、これまで算定してこなかった各種加算の取得を進め、安定的な収入増加を図ります。

また、施設建物は竣工後 10 年が経過し、設備の修理・更新が必要な段階にあります。これまで以上に費用・経費の使用方法を精査するため、職員一人ひとりがコスト意識を持てるよう、経営状況の「見える化」を推進し、分かりやすい形で情報共有を行っていきます。